

高瀬神社 社報

越中一宮

第69号

越中高瀬神社
一宮

令和3年4月1日

<https://www.takase.or.jp/> 撮影：南部スタジオ

心の距離を縮めて

宮司 藤井秀嗣

桜が咲き、本格的な春がやってきました。県内のあちらこちらで氏神様の春祭りが斎行されています。

先月、新湊の放生津八幡宮の曳山祭りが国の重要無形文化財に指定され、これをお祝いするお祭りの様子が新聞に載っていました。勇壮な曳山は平成二十七年十月に開催された「第三十五回 全国豊かな海づくり大会」に御臨席の天皇皇后両陛下をお迎えしたことで知られています。伝統のお祭りを継承し、支えておられる氏子の皆さんの誠心に敬意を表します。

先月のお祭りでは、十数基ある全ての曳山を出したかったようですが、コロナ禍であり、数を減らして斎行されたということでした。

昨年春から全国的に有名な神社の祭礼を始め、地元神社の祭礼に行われる神賑行事（神輿、曳山、獅子舞など）のほとんどが自粛や中止となりました。厳粛なご祭儀と賑やかな神賑行事は、神

社のお祭りの基本形式であり、これまであたり前の風景でした。ところが、現在では様子が変わってしまい、寂しいお祭り風景となっています。今年は少しずつ復活の兆しはありますが、コロナ感染状況の改善がみられず、賑やかなお祭りを安心して斎行できるのは、まだまだ先のようにです。

昨春からのお祭り斎行にあたり、社殿での参列者数を制限して、密集を避ける、直会を省略して密接を避ける、暑さ寒さに関わらず社殿を開放、換気して密閉を避ける、いわゆる三密を避けて斎行する神社が増えました。結果的にこれまでに比べて手間のかからない縮小型のお祭りが普通になりました。氏子や参列者の気持ちとして、違和感を強く感じながらお祭りに関わる人もいれば、残念だけど楽しんで感じる人も出てきました。神輿や曳山の巡幸がある神社の氏子の中には、それを楽しみ（生きがい）にしている人が少なからずいます。しかし、昨

今の状況が何年も続けば、その気持ちで少しづつ萎えていってしまうのではないかと危惧しています。コロナ終息後、従来のお祭りができなかったストレスが爆発して、より盛大なお祭りになれば良いのですが、逆に自粛慣れの結果、縮小傾向のお祭りが恒例化するとしたら、これまで長い年月をかけて継承されてきた伝統の儀式やお祭りに対する心（伝統的精神）が廃れることになるでしょう。それはお祭りを始め、地域で結束して支えてきた行事の崩壊につながり、ひいては日本文化の伝承に大きな影響を及ぼすことになるのではないかと心配しています。

我々、神職は伝統を守るという役目を背負っています。しかし、神職だけでは神社の伝統を守っていきません。ご祭儀や神賑行事など、氏子の皆さんと力をあわせて取り組むことが絶対必要です。コロナウイルス蔓延二年目となり、自粛慣れしているように感じますが、無理をして蔓延前のお祭りに戻して感染拡大となつてはどうしようもありません。感染防止対策をき

ちんと実行して、氏子の方々と相談しながら伝統継承に努力していかねばなりません。そのための話し合いの場も必要ではありませんが、感染拡大の第四波といわれる今日、何事にも距離をとり、空間を確保することが大切とされています。

終息が見通せない、感染二年目に入りました。このような中ではありますが、神職、氏子、お祭りに関わる人たちがお祭りへの想いを大切にして、過去から引き継いだ伝統を未来へ伝えるという使命感を共有し、力をあわせて神社を守るという決意を新たにしなければならぬと思います。

これからも三密を避けるため、お互いの距離は広くとることにしますが、神社に寄せていただく心の距離は、今まで以上に縮めていただきたいと切に願っております。

一日も早くコロナ終息となりますように、そして、従来のかたちでのお祭りを斎行できる日が早くやって来ることを祈るばかりです。

祭事暦

令和三年初詣



本年の初詣は、新型コロナウイルス感染症対策を各所に施して迎えることとなりましたが、ご奉仕いただきました関係各位のご協力により、心配された感染拡大や事故などもなく、約十万人の参拝者をお迎えすることができました。御本社並びに英霊をお祀りする功霊殿でも、感染症対策の一つとして玉串に代わり「御幣串」を奉りお参りいた



だきました。願い事が込められた御幣串をご家庭にてお祀りいただくことで、御祭神のご神徳をいただき、一年間のご加護を授かることとなります。六十名の奉仕巫女は、初詣の皆様が明るい一年を過ごせるように笑顔で対応し、御祭神に代って福をお頒ちしました。本年も、氏子の皆様をはじめ、関係各位のご協力を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

令和三年正月 初詣句会

一月五日、恒例の福野糸瓜句会（中川英堂会長）の「初詣句会」が開催されました。奉納句は次の通りです。

雪降りて妙に張り切る女と居て	中川 英堂
彼の官司様と熱燗お伊勢宿	梅島くにを
神官の寒き廊来る音固し	名村 五月
明けの春牛歩と決めし余生かな	宇野 恭子
嫁ぐより葱の雑煮を守り来し	田上真知子
初祓い受けて作句に意気新た	上古 眞澄
雪まじる玉砂利踏みて大前へ	有川 寛
歳時記へ橙ひとつ飾りけり	高原 禮子
一歩づつ雪を踏みしめ神の道	城宝寿美礼
年玉や神仏に手を合わせし子	五十嵐千恵子

敬称略



節分祭



二月二日午後三時より「節分祭」を斎行しました。節分と言えば二月三日との認識が一般的ですが、本年は三十七年振りに三日以外の日となり、二日が当日となるのは明治三十年以来、百二十四年振りという珍しい「節分」でした。豆撒きは、神職、巫女、石岡敬夫責任役員がマスク・手袋着用のもと「福は内、鬼は外」の掛け声に合わせて行い、ご参拝の方々に福をお頒かちしました。



紀元節祭

皇紀二六八一年となる本年、二月十一日午前十時より「紀元節祭」を斎行し、神武天皇による建国のご偉業の顕彰と、我国の繁栄、世界平和を祈念しました。本年も福野松風会（大聖寺弘会長）の建国を奉祝する吟詠奉納がありました。



吟詠奉納

奉納曲

【御本社】

「中秋の月」蘇軾

「生田に宿す」管 茶山

「峨眉山月の歌」李白

「春夕」佐藤一斎

【功霊殿】

「月夜三又江に舟を泛ぶ」

武田信玄

「夜水墨を下る」

服部南郭

祈年祭（大祭）

二月十七日午前十時より、五穀豊穰、産業発展、国家安泰を祈願する「祈年祭」を斎行しました。感染症の蔓延以後、祭典へのご案内を自粛していましたが、今年最初の大会でもあり、感染防止対策を施して、氏子崇敬者・農業関係者の皆様約二十名にご参列いただきました。

また神賑行事として、井波松風会（斎藤博会長）四名の会員により吟詠奉納がありました。

奉納曲「光」昭和天皇御製
「富士山」石川丈山



天長節祭



二月二十三日午前十時より「天長節祭」を斎行しました。現在では「天皇誕生日」として、広く親しまれていますが、本来は「天長節」と呼ばれる祭日で、昭和初期には、四方節（元旦）・紀元節（現 建国記念の日）・明治節（明治天皇のお誕生日 現 文化の日）と並んで四大節と呼ばれました。本年も参列者と共に天皇陛下のお誕生日を奉祝しました。

鎮火祭

三月八日午前十時より「鎮火祭」を斎行し、火の恵みに感謝し、一年の無火災を祈りました。

祭典では、祝詞奏上、神楽「剣の舞」の奉奏に続き、「鎮火神事」を行いました。故事神話に基づき、宮司と笠田武司南砺市消防団井波方面団高瀬分団長が「瓢の水」を、続いて森田松司部長が「土」を、次に竹田衛班長が「川菜」を用いて篝火台の火を鎮め、滞りなく行事を執行し納めました。



東日本大震災復興祈願祭



三月十一日午前九時、東日本大震災復興祈願祭を斎行しました。大震災より十年が経過しましたが、未だ元の生活に戻っていないとのこと。この状況が改善され、一日も早く真の復興が成し遂げられますよう、そして、犠牲になられた方々の御霊の安らかならんことを祈念しました。



ご案内

はがた いし 歯固め石

当神社では、お食い初めの石「歯固め石」を授与しております。ご希望の方は社務所へお声がけ下さい。

※「歯固めの石」とは

生後百日頃は、赤ちゃんの歯が生え始める時期です。お食い初めの行事では、赤ちゃんに石のように丈夫な歯が生える事を願う「歯固めの儀」を行います。この

「歯固めの儀」で使われる石の事を、「歯固め石」と言います。



戌の日 (安産祈願)

- 4月 8・20日
- 5月 2・14・26日
- 6月 7・19日
- 7月 1・13・25日
- 8月 6・18・30日
- 9月 11・23日

腹帯のお祓いも行いますのでご持参下さい。



祭典・行事のご案内

なつもうで

夏詣 開催

期間 七月一日(木)～七日(水)

「夏詣」とは…

「大祓」は年二回行われます。十二月三十一日の「師走の大祓」で罪穢を祓い清めてから「初詣」に出かけ、新年の平穩を祈ります。

六月三十日の「夏越の大祓」でも同様に罪穢を祓いますが、その後改めて、参拝する習慣はありませんでした。



そこで、半年無事に過ぎたことに感謝し、残る半年も平穩に過ごせるよう祈る参拝のことを「夏詣」と呼んでいます。

新しい習慣として提唱しています。

どうぞお参りください。

境内各所に感染症対策を施しております。ご参拝の折はご協力願います。



○大國さまの宝願小槌
初詣と同様に宝願小槌によってお祓いを行います。



○「夏詣」期間中の御朱印



令和三年七月七日



なごし おおはらえ

夏越の大祓

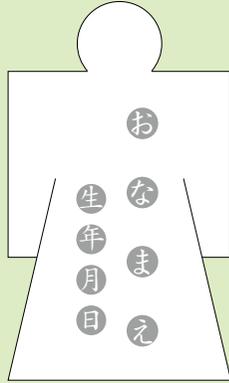
日時 六月三十日(水) 午後三時より

水無月の夏越の祓する人は千歳の命のぶというなり

『拾遺和歌集』(よみ人知らず)

「大祓」は、知らず知らずのうちに犯した罪穢つみけがれを半年に一度祓い落として、元の清らかな心身に戻り、続く半年も無病息災で過ごせるよう願う神事です。

拜殿にて「大祓詞」おおはらえのしほを奉唱し、各人が「人形」ひとがたに罪穢を移し、特に「夏越の大祓」は前庭に設けられた「茅の輪」ちのわをくぐり、心身を清浄にもどします。暑い夏を健康に乗り切るための大切な神事です。



※ご希望の方には案内状と人形を送付しますので、社務所までご連絡下さい。



茅の輪くぐり

七夕祭・技芸上達祈願祭

日時 七月七日(水) 午後三時より

七月七日(夏詣)

最終日)に織姫さまの裁縫上手にあやかり、習い事が上達するように祈願する「七夕祭・技芸上達祈願祭」を行います。

ご家族お揃いで

是非お参り下さい。なお、六月十三日(日)から七月七日(水)まで拜殿前に短冊を用意しますので、ご自由に祈願事を書いてお納め下さい。



☞ それぞれの祭典では、感染症対策の為、マスクをご着用いただきご参列願います。



第二十二回 人形感謝祭

にんぎょう かんしゃさい

日時 七月二十四日(土) 午前十時より

古くなった人形に感謝し、神社へ納めるお祭り「人形感謝祭」を斎行します。納められた人形はお祓いの後、お焚き上げしてお別れします。子供の成長とともに使わなくなったり、壊れてしまった「人形」や「ぬいぐるみ」をお持ち寄り下さい。



受付

七月二十三日(金) 午前九時～午後三時まで
 二十四日(土) 午前九時～午前十時まで

祈願料

三千円からご志納願います(手提げ袋一袋程度)。
 ※人形の数が多い場合や大きな人形については、事前に社務所へお問い合わせ下さい。

第二十一回 人形展(一期一会)

七月二十三日(金)～二十五日(日)開催
 「午前十時～午後四時」

県内外の作家による創作人形や、多種多様な「いけばな」が会場を彩る「人形展(一期一会)」を開催します。二十年の節目を迎えた昨年、感染症対策を施し、開催したところ、約五百名の方にお越しいただきました。洗練された作品をご覧いただき、素敵な人形といけばなのひと時の出会いをお楽しみ下さい。



人形展では、検温などの感染症対策を実施しております。ご来場の際はご協力願います。

会場…高瀬神社参集殿 (平成殿)

入場料…無料

御社殿屋根修復募金

（令和二年十二月〜令和三年三月三十一日）
 『ご奉賛頂きました皆様に「厚く御礼申し上げます。」
 敬称略』

特別奉賛金奉納者

五十万円 西田 吉輝
 三十万円 辻建設(株)
 辻 明信
 十七万円 佐々木和良
 十万円 榑馬ティーツー
 坂下 政和
 坂下 正幸
 坂下 幸司
 松田 登
 五百円 西野 真夫
 中山 喜八郎
 田邊 義嗣
 藤澤 光希
 川岸 正範
 水上 誠
 高瀬 坤
 長井 和成
 豊川 栄治
 三万円 齊藤宣良いご会
 有ナガイ工業
 長井 利夫
 二万円 浦出 義一
 荒木 光雄
 酒井 克之
 山本 恵資
 井上 勇治
 小林 博和
 前川 早織

八千円 本居 紀文夫
 本居 剛弘
 本居 花子
 岡田 春雄
 吉田 則夫
 吉田 三保江
 吉田 英和
 小泉 由和
 山谷 秀明
 永田 陽夫
 吉田 捷正
 吉田 英子
 西部 英子
 高川 誠
 高井 敏夫
 藤井 孝昌
 藤井 綾之
 東方 慎治
 柿原 潔志
 綿谷 まり子
 渡辺 康弘
 水田 秀明
 古澤 建治
 嶋田 耕三
 嶋田 武夫
 藤井 紀子
 藤井 亜紀子
 高瀬 茂美
 堀井 陽一郎
 湯田 歩美
 長谷川 博

古羽 修誠
 丹羽 朋秀
 嶋田 律之
 出井 政輝
 鍋澤 憲之
 高井 和真
 森島 美智代
 小嵐 美智代
 中瀬 史貴
 中瀬 洋一
 中瀬 信一
 松浦 憲一
 義浦 宇輔
 義浦 隆信
 荒木 郁也
 野原 平代
 桐原 哲平
 齊藤 千子
 中嶋 正範
 中嶋 一和
 小嶋 由一
 山下 功
 末エムズ
 木田 政人
 中山 貴之
 安治 之
 中山 雅子
 山田 省子
 長谷川 睦子
 西島 靖昌
 島田 佳代
 森田 一
 林田 駿
 北大山 良一
 大井 和
 高井 浩
 津川 信

若水 栄
 南工 業士
 穴田 貴子
 齊藤 文
 張田 真
 中田 也
 赤山 翔
 秋山 哲夫
 山田 省志
 布村 継志
 今井 友美
 谷村 滋
 野口 敏夫
 本居 文夫
 本居 紀夫
 本居 花子
 本居 剛弘
 太田 昇
 太田 朝
 高井 靖之
 井上 洋
 井上 卓利
 井上 卓利
 井上 洋
 井上 卓利
 長谷川 靖
 高橋 美
 高橋 美
 高橋 美
 田中 美
 田中 美
 五十嵐 幸恵
 伊東 克己
 山田 省志
 徳井 将太
 徳井 将太
 徳井 将太
 徳井 将太
 張田 真杏

奉納

○「姿見・婚礼用籠」

元職員

平野 加奈 殿



○「神事用麻」

南砺市立野原東

山崎佑二郎 殿



○「初穂米」

南砺市土生新

奥野平喜知 殿

編集後記

この一年、新型コロナウイルス
 ス感染症に怯えつつも、この異
 常な環境に次第に慣れてしまっ
 た自分があります。勿論、慣れた
 とは言っても感染対策は怠ら
 ず、自粛の日々を過ごしていま
 す。平穩だった時を思い起こす
 と「なんと幸せなことだったの
 だろう」と感じつつも、現実に
 目をやると厳しい状況は続いて
 います。ワクチンが開発され、
 光明が差したようにも思えます
 が、変異株の出現などまだまだ
 予断は許されません。一日も早
 くこの状況が収まり、世界中の
 人々が元の生活に戻れるよう祈
 る毎日です。

各種お問い合わせにつきましては、
 社務所へご連絡下さい。
 (〇七六三) 八二一〇九三二

社報バックナンバー

当社社ホームページで
 ご覧頂けます。

〔表紙写真〕 牛岳と桜

令和三年四月一日

山森 信人
 権禰宜を命じる

平野 加奈
 願いにより結婚式事務員を免ずる

令和三年一月三十一日



結びの杜の神前式

縁結びの神様、大国主命をお祭りする越中一宮。

日常を隔てる境内で、玉砂利を踏みしめて歩く参進の儀に始まり、社殿に響き渡る雅楽の調べの中、厳かな神前式が執り行われます。

大国様の「結び」の御神徳によりお二人だけではなく、両家の絆も固く結ばれます。



四季折々の境内でロケーションフォトを満喫



一日一組限定のおもてなし

完全なプライベート空間で和やかな宴会が実現すべては一組の新たな夫婦の幸福のために



オープンエアリーなプライベートテラスで開放的な演出が実現



結婚式をあきらめないでください

二人だけでも結婚式はできます。「だったら、家族は欠かせないかな。」「折角だから、親戚のみなさんだけでも。」「できれば、近くに住む友人くらいは...」列席を減らすのではなく、無理なく増やす。そんな考え方で結婚式を叶えてみませんか。挙式のみ、少人数会食、高瀬神社は結婚されるすべての方を歓迎しています。

あなたの人生に、神社がある。

越中一宮高瀬神社

〒932-0252 富山県南砺市高瀬291
ご予約はTEL0763-82-1131

高瀬神社 🔍 検索



高瀬神社LINE



高瀬神社HP